

Case Study Vol. 7

ポケットカード株式会社 データビジネス企画室

部門横断型データ分析組織の立ち上げ支援

ポケットカード株式会社について

1982年に株式会社ニチイ・クレジット・サービスとして設立。2001年に社名を現在のポケットカード株式会社に変更、その後変遷を経て、2018年に伊藤忠商事の連結子会社となる。現在、伊藤忠グループのリテール金融領域においては中核をなすクレジットカード会社。プロパーカードである『P-oneカード』をはじめ、『ファミマTカード』『ZOZOCARD』といった数多くの提携カードを提供。全国各地の幅広い年齢層に支持され、2021年時点の会員数は約500万人に上る。

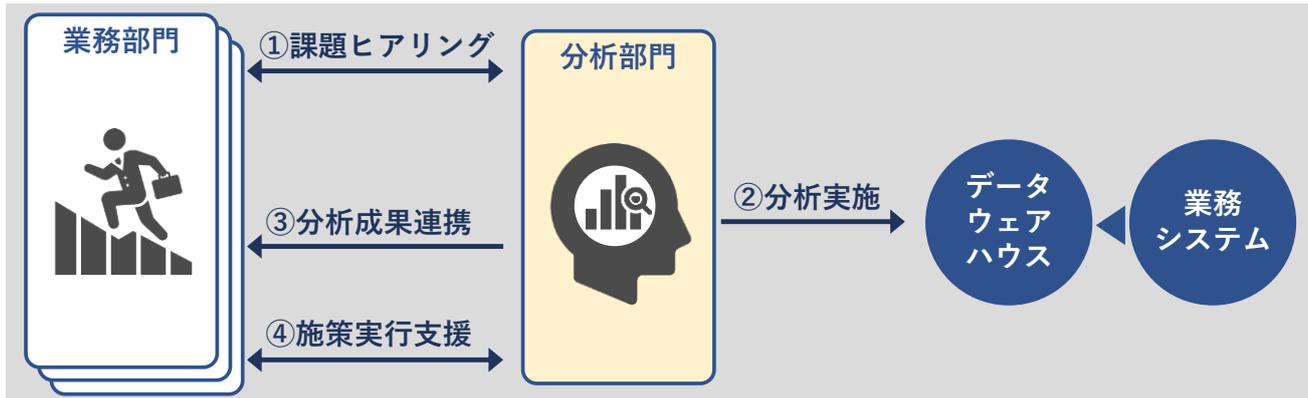
現在は「伊藤忠グループの一員として、次世代の金融サービスを牽引する」を中長期ビジョンに掲げ、グループ一体となったカード戦略を推進し、キャッシュレス基盤のさらなる躍進を目指している。

意思決定を支援する分析組織の立ち上げ

ポケットカード社では、かねてよりデータウェアハウスを整備し、定型レポートを業務部門へ提供するなど利活用を行っていた。しかし、分析業務を担う専門の組織が存在しないなどの理由により、個々の課題を解決するためのアドホック分析には十分に時間をかけることが出来ていなかった。戦略目標の実現にあたり、課題に応じた分析をもとに業務部門の意思決定を支援できる、社内コンサルタントとしての役割を担える組織の設立が求められていた。

そこで、①業務ヒアリングを行い部門の抱える課題を定義し②課題解決の道筋を立て分析を実施し③業務部門へ分析結果をフィードバックし④効果検証を含む施策実行支援を行うことができる組織を目指し『データビジネス企画室』が編成された。メンバー育成のパートナーとしてテンソル・コンサルティングが選ばれたことについて、データビジネス企画室室長は『これまでも与信分野で高い技術力を発揮していたテンソル社に期待した』とコメントしている。

分析部門『データビジネス企画室』の役割



社内コンサルティングを担う人材の育成

メンバー育成はトレーニングフェーズと実践フェーズの2段階で進行した。

テンソル社では、自身が長年にわたり金融事業のコンサルティングを行ってきた経験を体系化し、**金融ビジネスにおける分析に必要な技術が無駄なく学習できるカリキュラムを提供**している。トレーニングフェーズでメンバーはこのカリキュラムを通じて、基礎統計論理や分析ツールの取扱いを学んだ。

実践フェーズではメンバーごとにテーマを定め、業務部門へのヒアリング・課題定義・数理モデル構築・テストマーケティングといった、**データサイエンティストとして必要な一連の業務をOJT形式で実施**。各メンバーはテンソル社からのアドバイスを受けつつ、マーケティング・顧客分析・与信管理など多岐にわたるテーマへ取り組んだ。

メンバーが取り組んだテーマの一部

マーケティング

キャッシング利用推進

- ・過去の販促履歴より反応率予測モデルを構築
- ・販促テストでランダム抽出の約2倍の反応率を達成

顧客分析

顧客プロファイルテーブル作成

- ・セグメント毎の利用・退会・収支実績テーブルを整備
- ・券種ごとの収益構造を可視化

与信管理

初期与信モデル更改

- ・直近の申込データを用いて初期与信モデルを構築
- ・現行モデルと比較して更改時の増収をシミュレート
- ・不良残高を削減しつつ合計与信枠を増加(※1)

初期与信ルールシミュレータ構築

- ・初期与信ルールのヒット状況シミュレーションを実施
- ・ルール変更時の事前影響評価を実現

※1) 過去実績より申込数・許諾率・不良化率などを仮置きして試算した見込み数値

18ヶ月間に及ぶプロジェクトの結果、データビジネス企画室は単なる分析ツール・オペレータではない高度な分析技術を保有するチームへと成長した。

テンソル・コンサルティング株式会社

膨大なビジネスデータの中からデータの真のメッセージを掘り起こす「データマイニング」を専門領域とした経営コンサルティング会社。銀行、クレジットカード、リースなどの大手金融系企業、携帯電話、ポータルサイトなど大手通信事業者、メーカー、通販業者など幅広い業態におけるマーケティング、リスク分析に多数の実績をもち、常に最新の技術を研究し、EC 検索エンジン自動学習法など最先端の統計数理技術を活用した複数の特許を持つ。社名のテンソル (tensor) は、「神経を研ぎ澄ます」という意味の「tense」を語源にもち、空間に分布している力の状態を示す数学の概念に由来する。

本社所在地 東京都千代田区五番町2番地24

電話番号 03-3230-7011

ウェブサイト <http://www.tensor.co.jp/>

E-mail info@tensor.co.jp